



# 1818 - 2018 グリベル 200年

## 1818年、グリベルはクールマイユール村の鍛冶屋だった。

### 1840

鍛冶屋のグリベル家へ農器具を持ち込んでピッケルへの改造を注文する登山者が訪れた。トリノの町から経済的に豊かな人たちがモンブランに関心を持って氷河に入った。



鍛冶屋グリベル 1879



### 1909

英国人エンジニアであり登山家のオスカー・エッケンシュタインが画期的な10本歯クランボンの設計図をグリベルへ持ち込んだ。ヘンリー・グリベルがその製造を始めた。



10本歯 1909

### 1929/1938

ヘンリーの息子ローラン・グリベルが靴のつま先に歯が出る12本歯クランボンを発明した。その後ローランの弟、アマトは12本歯クランボンの鋼材にクロモリ合金(ニッケルクロムモリブデン鋼)を採用して1組僅か360グラムのクランボンが実現した。このクロモリ合金の12本歯クランボンによって氷斜面へ前歯を蹴り込んで登ることが出来るようになった。1938年アイガー北壁の初登攀はこの12本歯クランボンによって成された。



アイガー北壁 1938



超軽量12本歯1929

### 1953/1954/1955

世界の3大峰であるヒマラヤのエベレスト、K2、カンチェンジュンガの初登頂はグリベルの軽量12本歯クランボンで行われた。



K2 1954 イタリア隊



イタリア隊 K2 8611m 初登頂(1954年7月)

### 2018

## 革新をつづけるグリベル



GHOST EVO  
ゴーストEVO

G20 PLUS  
G20プラス